

令和5年度住民税非課税世帯へ
電力・ガス・食料品等価格
高騰重点支援給付金を支給

支給額 1世帯当たり3万円
対象世帯

基準日(令和5年6月1日)
において本市に住居登録があり、世帯全員の令和5年度住民税が非課税である世帯
申請 原則不要

対象となる世帯には支給通知書を送付しています。

確認書の提出が必要な方

次のいずれにも該当する対象世帯には、世帯主あてに確認書を送付しています。必要事項を記入の上、関係書類を添えて返信してください。

- ① 昨年度本市で支給した「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金(5万円)」を口座振込により受給していない方
- ② マイナンバーカードで公金受取口座を登録していない方

確認書提出期限

10月31日(火)

◎問い合わせ…

福祉課地域福祉係

☎(24)5063

Fax(22)1547

敬老記念品を贈呈

高齢者の皆さんの長寿をお慶び申し上げます。

喜寿、米寿、白寿の方に記念品を贈呈します。

対象者(二本松市に住所のある方)

・喜寿(77歳)

昭和21年4月2日～22年4月1日まで

・米寿(88歳)

昭和10年4月2日～11年4月1日まで

・白寿(99歳)

大正13年4月2日～14年4月1日まで

贈呈時期・方法

9月11日～30日の間にゆうパックでお届けします。

その他

市内の特別養護老人ホームに入所中の方については、施設を通して贈呈します。

◎問い合わせ…

高齢福祉課長寿福祉係

☎(55)5114

Fax(22)1547



マイナンバーカード
マイナポイント第2弾の
申し込みは9月末まで

対象者

令和5年2月末までにマイナンバーカードの交付申請を行った方

申込期限 9月30日(土)

申込手続

マイナンバーカードを受け取ってから、スマートフォンやパソコン等で申し込みができます。

また、市役所本庁・各支所の窓口でも手続きできます。

(平日のみ)

付与ポイント

最大2万ポイント

◎問い合わせ…

マイナンバー総合フリーダイヤル

午前9時30分～午後8時

☎0120(95)0178

市民課市民記録係

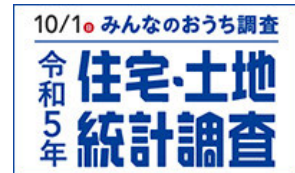
☎(55)5104

Fax(22)1547



住宅・土地統計調査

総務省統計局では、10月1日を基準として、住生活に関する最も重要な調査である住宅・土地統計調査を実施します。



対象

全国約340万世帯

調査結果の活用

都市計画の策定や空き家対策に関する施策の立案など

調査書類の配付

調査をお願する世帯には、調査員が訪問し、調査書類をお配りします。

回答方法

紙の調査票への記入

・インターネット

※9月中旬から「調査員証」を携行した調査員がお伺いしますので、調査へのご協力をよろしくお願します。

◎問い合わせ…

秘書政策課総合政策係

☎(55)5090

Fax(22)7023

未来へ続くみち下水道

9月10日は「下水道の日」

「ご自宅の排水がどこに流れているかご存じですか？」

単独浄化槽やくみ取り便槽をご利用の場合、お風呂、流し台や洗面所の水はそのまま側溝に流れ、臭いやボウフラの発生、河川の汚れの原因になります。

下水道の整備区域にお住まいで、まだ下水道に接続していない方は、私たちが住まわりの水環境の改善のために、ぜひ接続されるようお願いいたします。

◎問い合わせ…

上下水道課下水道管理係

☎(55)5138

Fax(62)1033



新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

令和5年秋接種

9月から実施の「令和5年秋開始接種」についてお知らせします

※8月10日現在の情報ですので、今後、国の方針等により変更になることもあります。

接種対象	生後6カ月以上の全ての方 ※接種は任意です。 ※新たに二本松市へ転入された方で、接種を希望される方は、各保健センターでの申請手続きが必要です。
実施期間	令和5年9月20日より開始(予定)
接種回数	実施期間中に1人1回(3回目～7回目) ※前回接種からの接種間隔は、3カ月です。
使用ワクチン	現在、流行主流株であるオミクロン株XBB.1系統に対応したワクチン
接種券の発送	9月上旬以降、65歳以上の方、基礎疾患等がある方から順次発送します。 ※「基礎疾患等がある方」とは、春開始接種時まで基礎疾患の申請をした方です。 ※新たに基礎疾患に該当するようになった方は、申請が必要となります。 ※同時期に接種した同じ世帯の方でも、接種券の到着が1～2日ずれることがあります。 ※8月以前にお送りしている追加接種用接種券は、秋開始接種では使用できませんのでご注意ください。
接種場所	二本松市・本宮市・大玉村の各医療機関および集団接種会場 ※接種可能な医療機関は、接種券に同封する医療機関一覧、市ウェブサイトに掲載予定です。
接種費用	無料

◎問い合わせ…健康増進課ワクチン接種推進係 ☎(23)6591 Fax(23)1714

市民が主役。

～市長からの手紙～

二本松から世界へ
～朝河貫一のあゆみ～



二本松市長
三保 恵一

朝河貫一博士生誕150年。世界的な歴史学者朝河貫一博士は、二本松藩士・朝河正澄・ウタの長男として二本松に生まれました。

教師であった父正澄は、5歳になった貫一に『近古史談』や『日本外史』をはじめ、儒教の『四書五経』などを教え、7歳前後には、すでに12、13歳の学力レベルに達し、「神童」と呼ばれました。

大隈重信をはじめ、時の有力者の推挙と援助を受けて渡米。ダートマス大学およびイエール大学大学院に学び、日本人として初めてイエール大学教授になりました。

日露戦争は、アメリカの仲介もあって日本の勝利で幕を閉じました。戦後、日本は、20世紀の新外交、東洋の新しい秩序と平和をもたらす主役となるべきでしたが…。

歴史は繰り返す。「戦争と科学の世紀、20世紀」の重い課題が「新しい世紀、21世紀」に引き継がれております。

朝河博士が繰り返し述べていたこと。

1「国家の長久」を第一に考える。

2「二時の国益と100年の国害」を見定める。

3「他国に公平な態度」を持つ。

4日本人がこれまでにない惨禍を招いたのは、日本人の常習となっている「妥協」や「黙従」によるものである。

朝河博士の生涯を貫いた真理を求め、不屈の研究態度、厳正中立に立って公平、無私な普遍不党の生き方、人格と識見、学績と業績、国際政治学に裏打ちされた平和思想に根ざす祖国愛に燃えた言論活動など、その精神は今なお現代社会に警鐘を打ち鳴らし続けております。

私たちは、今、世界的な視野に立って、歴史を学び、現在を認識しなければなりません。

世界の平和と繁栄、人々のしあわせを祈りながら…。